

陣場視距改良(大館市) 完成！ ～交通事故削減に向けて事故危険区間を減少させます。～

大館市長走地内の矢立峠は、急カーブ・急勾配区間が連続しており、十分な視距が確保されておりませんでした。特に冬季の滑走による衝突や追突事故等が発生しており、事故防止及び交通の円滑化が求められていました。

能代河川国道事務所では、急カーブ箇所の解消を目的とした道路線形改良、走行速度低下を軽減し定時制の確保を目的としたゆずり合い車線の設置、冬期間の堆雪帯の確保を目的とした路肩拡幅等を行い事故防止及び交通の円滑化を図るため、矢立視距改良事業(H15～18)に続き陣場視距改良事業(H18～)に着手しました。

この度、「陣場視距改良事業」が完成したのでお知らせします。

なお、「陣場視距改良事業」は、国土交通省で取り組んでいる「事故ゼロプラン」において、事故危険箇所として公表しており、危険箇所解消に向けて重点的に取り組みを行っている事業です。

位置図



(事業実施前の状況)



事業完成状況(道の駅「やたて峠」付近)



工事概要

- 完成日 平成25年3月29日(金)
- 場所 秋田県大館市長走字陣場 地内
- 工事期間 平成18年度～平成24年度
- 内容 道路線形改良、ゆずり合い車線設置、歩道設置、路肩拡幅
(整備区間 L=1,000m)
※ゆずり合い車線区間は、矢立視距改良事業(L=980m)を含め1,980mとなります。

記者発表先：北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
大館国道出張所
〒017-0864 大館市根下戸新町1-68
TEL 0186-49-0321
大館国道出張所長 加納 尚史
〒016-0121 能代市臈淵字一本柳97-1
TEL 0185-70-1001(代表)
FAX 0185-70-1143
道路管理課長 三浦 邦彦(内線411)